



令和6年10月22日 第4号

安方中だより

大田区立安方中学校

「俺の敵は、」

校長 佐藤 彰

コロナ禍だった5年前の夏に、私の家で「開かずの間」と呼んでいた部屋を、一念発起して片付けました。転居してから数年もの間、開けていない段ボールが数多く置かれ、物置となっていた埃だらけの部屋です。段ボールの中身は、私と妻の本やマンガ、CDが多かったので、それらを収納する本棚を3つ購入し、「片付けとは捨てること」という言葉は本当だと実感しながらきれいにしていきました。そして、「開かずの間」は、本棚が4つに机とイス、パソコン・プリンターが置かれた「書斎」へと変貌しました。



【宇宙兄弟】

書斎には私の本やマンガに加え、妻や子どもが読んだ膨大なマンガも収納しましたが、そこには私が読んだことのないマンガもたくさんあります。その中で、興味をもって手に取ったマンガのひとつが「宇宙兄弟」です。アニメや映画にもなっているので知っている人も多いと思います。

このマンガは、ごく普通の家庭に育った2人の兄弟が、将来は宇宙飛行士になると幼い時に決めて努力していく物語です。弟の日々人（ヒビト）は、子供のころからの夢をもち続け、日本人最年少で宇宙飛行士になります。兄の六太（ムッタ）は、宇宙飛行士は現実的ではないと会社員になりますが、夢を諦めきれず改めて宇宙飛行士に挑戦していきます。

マンガの中には、心を揺さぶられるような名言がたくさんあると日頃から思っていますが、この宇宙兄弟にも名言があふれています。そのいくつかを紹介します。

『悩むなら、なってから悩みなさい』

宇宙飛行士になる試験の過程で、他の受験生と自分を比べて悩む六太に、天体観測所に勤めていたシャロンさんが言った言葉です。私たちは、新しいことや経験したことのないことを目の前にすると、失敗を恐れたりひるんだりするものです。勇気をもって挑戦することの大事さと、よい意味での楽観主義も必要だと改めて感じます。

『本気でやった場合に限るよ、本気の失敗には・・・価値がある』

六太がNASAの訓練プログラムを受けた時に、「限られた予算で最高の素材を使って1機作るのではなく、失敗もあることを前提に2機作るべきだ」という主張に対し返ってきた言葉です。失敗してもいいから、軽い気持ちでやってみようという場面も時にはあると思います。しかし、ここぞという勝負の時には、絶対に成功させるという強い意志と周到な準備が必要であり、その上での失敗には大きな価値があるし次につながっていくという意味だと思います。

『俺の敵は、だいたい俺です』

六太は、自分には運がない、まわりの人は自分のことを理解してくれない、だれも自分のことを助けてくれないなど、夢が果たせないことをまわりのせいにしていました。そんな六太が、自分の夢を邪魔して足を引っ張り続けているのは、自分自身であったことを振り返って言った言葉です。

私は「宇宙兄弟」の中で、この言葉が一番心に残りました。これまでの自分を振り返っても、他の何かと闘うよりも、自分の中の内なる敵との闘いの方が圧倒的に多かったと感じています。

3年生は、都立入試まであと4ヵ月となりました。受験は、まわりのだれかとの闘いではありません。言いようのない不安や怖さが大きいがゆえの、ひるむ気持ちや何もかも投げ出して逃げたくなる自分との闘いです。入試の結果は、必ずしも自分の思いどおりになることばかりではありません。でも、本気で頑張ったこと自体に大きな価値があり、次の成長への因を積んでいることは間違いありません。

『俺の敵は、だいたい俺です』。頑張れ、安方中3年生！

「表彰」おめでとう！

【剣道部】 ◎令和6年度大田区中学校
剣道新人大会
男子の部 **優 勝**



◎令和6年度大田区中学校
剣道新人大会
女子の部 **準優勝**



【吹奏楽部】 ◎第64回東京都中学生
吹奏楽コンクール
金 賞



【ダンス】 ◎第12回全日本ダンスコンクール
東日本大会
OTA ダンスチーム「WINGS」
二見 帆香さん 沼倉 叶恵さん
落合 清心さん 小林 結衣さん
金 賞



【卓球部】 ◎第77回区民スポーツ大会
秋季卓球大会 杉田 和香さん
第3位

